

社長安全 パトロール

リモートで品質等点検

大成ロテック

大成ロテックの西田義則社長は3日、ビデオ会議システムおよびウェアラブルカメラを用い、リ



モートで中日本高速道路発注の「中央自動車道多治見管内休憩施設舗装補修工事（2020年度）」の安全パトロールを行ったII写真。

パトロールでは、安全に関する点検はもとより、気になる施工箇所の画像を大型モニターにアップで映して確認することで、品質や出来栄に関する点検も行った。

西田社長は、パトロールに立ち会った協力会社事業主から、要望や意見を直接聞くとともに、建設キャリアアップシステムの積極活用を促した。

また、講評で同社の工事担当者に対しては、新型コロナウイルス感染症対策を積極的に行いつつ、資機材搬出入時の第三者災害防止対策や地下埋設物損傷防止に対する取り組み等を確実に、無事故無災害で品質の良いものを納めるよう指示した。

同社は、緊急事態宣言期間だが、現場の安全・環境・品質確保を目的にリモートによるパトロールを継続実施しており、3月上旬までに全国10支社の主要現場を中心に実施する予定。